よくある質問～内水浸水想定区域について～

Q 内水浸水想定区域とは何ですか？

内水浸水想定区域とは、想定しうる最大規模の降雨（清水町においては１時間当たり147ｍｍの降雨）により道路側溝等の雨水排水施設で雨水が排除できなくなった場合に、浸水が想定される区域のことです。

Q なぜ内水浸水想定区域図を公表するのですか？

近年、道路側溝等の能力を超えるような大雨(ゲリラ豪雨)が全国的に増加しています。このような大雨に対して、町民の皆様に、お住まい・職場・学校の周りの浸水予測の程度をご確認いただき、日頃からの備えや対策をとっていただくために、内水浸水想定区域図を作成し、公表しています。

Q 内水浸水想定区域図はどのように作成していますか？

内水浸水想定区域図は、浸水シミュレーションに基づく浸水想定区域を示しています。 道路側溝や小河川、地形の状況等を現地調査等で把握し、コンピュータ上でモデル化したものに雨を降らせ、道路側溝等に雨が流れ込み、管がいっぱいになり、マンホールからあふれだした雨水が低い土地に集まり、浸水区域となる。といったシミュレーションを行っています。

Q 内水浸水想定区域図の作成にどんなデータを使用していますか？また、そのデータはいつ時点のものですか？

内水浸水想定区域のシミュレーションに用いる地盤高の設定のために、国土地理院が公表している令和元年度時点の地盤高（標高）データを使用しています。また、道路側溝や小河川、地形の状況等の把握には、令和６年度に実施した現地調査で取得したデータを使用しています。

Q 想定し得る最大規模の降雨をどのように決めたのですか？

「想定し得る最大規模の降雨」は国の基準（「浸水想定（洪水、内水）の作成等のための想定最大外力の設定手法（平成27年7月）（国土交通省 水管理・国土保全局）」）により定めています。国の基準では近隣の流域における降雨が同じように発生すると考え、国内を降雨の特性が似ている15の地域に分け、その地域内で過去に観測された最大となる降雨量を用いて設定されています。清水町は中部地域に分類されており、中部地域で過去に観測された最大降雨量である１時間に147ｍｍを使用しています。

Q 近年、清水町で降った最大の降雨はどれくらいですか？

令和６年11月２日に清水町消防署で観測した時間降雨量59.5ｍｍが最大です。（令和７年４月現在）

Q 内水浸水想定区域図はどこで閲覧できますか？

清水町役場３階くらし安全課窓口と清水町防災センター１階窓口で閲覧することができます。

Q 内水浸水想定区域図で着色されているところでは、大雨の時に避難が必要ですか？

内水浸水（道路側溝等、水路からの浸水）では、浸水に伴う水の勢いがそれほど大きくないため、2階以上へ移動する等、安全な場所へ避難移動することで人的被害を軽減できます。 洪水が発生した、もしくは発生する可能性があるとの避難情報が発令された場合は、清水町防災ハザードマップ（洪水ハザードマップ）に記載されている避難所への避難をしてください。

Q 過去に浸水実績のあった場所が、浸水区域になっていません。間違っていませんか？

内水浸水想定区域図は、あくまでも道路側溝等、水路の能力の不足によって浸水する箇所を示しており、排水溝が詰まったことによる浸水や局地的な「くぼ地」などの微細な地形による浸水については表現できないため、過去に浸水実績があった場所でも、浸水区域になっていない場合があります。

Q 過去の浸水実績や被害は反映されているのですか？

町が把握している浸水実績箇所について、シミュレーション結果と整合していることを確認しています。今後、地域から過去の浸水実績や被害等について伺う機会を設け、地域の意見をより反映させた区域図として内水ハザードマップを作成し、令和８年３月に公表する予定です。

Q 川からかなり離れた場所なのになぜ浸水するのですか？

内水浸水想定区域図は、町内の道路側溝等の排水能力不足に起因した、浸水区域を示したものです。河川から離れた場所でも浸水が発生する可能性があります。

問い合わせ先

清水町くらし安全課防災対策係(055-981-8205)
メール：bousaitaisaku@town.shizuoka-Shimizu.lg.jp